OLYMPIAクラス(5時間耐久レース)に出場したが、レースの途中で走行不可の状態になり途中棄権となってしまった。出場前の7月に学内試走を行った際に大きな破損をしてしまい、その修復に時間をとられたために、十分に走り込みができなかったことが響いた。走り込みをして今年は完走を目指す。

現在ソーラーカー部は、2015年に2年毎にオーストラリアで開催されているワールド・ソーラー・チャレンジ(WSC)という国際的なソーラーカーの大会に出場することを目標にしている。今年度は部員3人が実際にオースト

ラリアまで視察に行く。

部長の野村耕平さん(電気電子2年)は「1・2年の大学の授業は主に座学で、工学部なのにものづくりといった感じがしない。ソーラーカー部では実際にものづくりに触れられる上、学科の枠にとらわれず、ものづくりを行うことができる。新入部員は学年・学科問わずいつでも歓迎しているので、自分の手でものを作ってみたい人は是非ソーラーカー部に来てほしい」と話す。

(旧「クラブ紹介」を「部活の扉」として紹介 してまいります。)

研究室の旅 河川研究室

今回の研究室の旅では、河川およびその流域などについて研究している冨永晃宏教授(都市社会)の「河川研究室」を紹介する。河川研究室では大きく分けて『多様性の創出』『水害対策』の2つのテーマで研究を行っている。

『多様性の創出』の研究とは、河川の生態環 境を調査し、河川構造物を設けることにより水 生生物に適した環境を創造することを目的とす るものだ。具体的には、川の本流とつながって いるが、河川構造物などに囲まれて池のように なっている地形であるワンドを人工的につくっ たり、川を流れる水の浸食作用などから河岸や 堤防を守るために、水の流れる方向を変えたり 水の勢いを弱くすることを目的として設けられ る施設である水制を設置したりすることによ り、生物が好む多様な環境を生み出す。また、 そのための調査として河川研究室ではよく河川 に赴いて計測を行う。潮の干満の度合いによる DO (水中の酸素濃度) の変化の調査、水質調査、 流速の調査などを行うが、潮の干満は6時間ご とに変化するので徹夜で計測を行うことも珍し くないそうだ。

『水害対策』の研究は、大雨や台風等により

伊佐治 拓人 (都市社会2年)



生じる洪水や高潮などの被害を軽減し、予防することを目的とする。都市においては、地表がアスファルトやコンクリートで舗装されており、水は浸透することができない。そのため、集中豪雨などで短時間に多量の雨が降ると下水処理能力を超え、洪水になってしまう。

その対策の一つとしては、地下に貯水池を設けるといったことがある。名古屋市では大曽根の地下に最大で約34,000立方メートルの雨水を一時的に溜めることができる貯水池が存在する。この貯水池は2006年8月22日に発生した64.5ミリ/時の集中豪雨でも浸水被害が周辺で発生しなかったことから、その効果が証明されている。

河川研究室では学生が研究内容を決定する際、冨永教授はある程度方針を示すだけで詳細は学生が決めている。教授は『目標に対してどれだけ努力するかが大事である』という考えを持っており、「実際に実験を行い、実験結果を

考察することで、何度も失敗をしながらも研究 を続けることが重要である。学生には学問のバ リエーションがたくさんある中でどれを突き詰 めていくか見つけてほしい」と語った。

柴田研究室 医・農薬向け画期的試薬を開発

小池 花央(生命・物質3年)

柴田哲男教授(生命・物質)の研究グループは、トリフルオロメチル硫黄(以下、SCF3)化合物を従来よりも大幅に安く、かつ安全簡単に合成できる画期的な試薬の開発に成功した。SCF3というユニットをもつ医農薬品は高い薬理作用が期待されるため、製薬・農薬業界から注目を集めている。

SCF3基は、その小さな化学構造からは想像できないほどの高い脂溶性をもつ官能基である。そのためSCF3基は医薬品候補化合物に導入されると、母体の化学構造に大きな変化を及ぼすことなく、脂溶性、すなわち生体細胞内への取り込まれやすさを格段に上げることができる。しかし、これまでSCF3基を導入するためには高価で毒性の高い塩素系のSCF3化試薬が用いられており、また特殊な実験設備も必要であったため探索研究には適していなかった。

今回、柴田教授らが開発したSCF3化試薬は扱いやすくコスト面・安全面でも非常に優れたものであり、これまでのどの範疇にも属さない斬新な化学構造を持つうえ、従来とは全く異なる反応メカニズムでSCF3化を起こすという。特筆すべきは、SCF3基ではなくその酸化体であるSO2CF3基と超原子価状態のヨウ素を同一炭素に組み込んだ異例の化学構造にある。安定なこの試薬に銅を加えると炭素ヨウ素結合が切断され、それが引き金となってSO2CF3基の還元反応が連続的に始まる。最終的に高活性なSCF3+が発生し、速やかにSCF3化反応が起こるという。この試薬は、小さな化学構造の中に相反する安定性と反応性という2つの性質を絶



妙のバランスにより組み込んだもので、有機化 学とフッ素化学に精通した柴田研究室だからこ そ開発し得たものだろう。

実は、異常とも思える反応メカニズムで SCF3+が発生する仕組みは予期していたもの ではないそうだ。これは学生が遭遇した奇異な 実験結果から生まれたものであり、学生の注意 深い観察力と研究への熱意がなければこの試薬 は発見されなかったという。まさに柴田研究室 のセレンディピティによるものだと言える。

現在、試薬の実用性の検証と販売に向け大手化学メーカーと交渉を行っている。柴田教授は「この画期的な試薬を広く世界に提供し、製薬・農薬業界の人たちの新薬開発研究に役立ててほしい。21世紀になって新薬が出にくい状況が続いているので、この試薬が突破口を拓くきっかけになってくれればと願っている。また、この試薬によるフラスコ内での連鎖反応が、現実社会にまで連鎖し、名工大初の創薬ビジネスへと繋がっていけばいいね」と語った。

情報 ネットワーク

北海道支部総会報告

平成25年度北海道支部総会は、11月9日(土) に札幌の七福寿司で11名が参加して開催されま した。今回は名古屋工業会本部の理事の方々の 日程があわず、支部会員のみの会となりました が、本部より名工大および工業会に関する資料 を送っていただきましたので、それらを出席 者に配布しました(欠席者には後日郵送しまし た)。

ここ数年参加者が固定化する傾向がありまし たので、今回はできるだけ多くの新しい同窓生 が参加するよう、初めて参加される方の会費を 無料としました。また、同窓生からも積極的に 知り合いの同窓生に参加を勧めてもらいまし た。その結果、今回は4名の方が初めて参加さ れました。

北海道には約50名の卒業生がおります。北海 道は広いため、すべての同窓生が札幌での総会 に参加するのは困難です。そこで、同窓生相互 の情報交換を目的に、今回支部のニュースレ ターを発刊しました。同窓生の自己紹介や母校 の想い出などの原稿をいただきました。総会時 に参加者に配布しました(欠席者には後日郵送 しました)。

総会では、事業報告、会計報告の後、出席者 全員が近況などの話をして、懇親を深めました。 話は尽きず、総会の後はすすきのでの二次会に 席を変え、懇親をさらに深めました。

今回初めて出席された方の近況は次のとおり です。

赤澤 稔彦(Y53)氏:熊本生まれですが転居 されまして高校は名古屋で卒業されました。西 浦製陶株式会社勤務の後、アズビル株式会社(旧 山武)へ転職されて、北海道の苫小牧営業所に 来られ、以後20年苫小牧で勤務しておられます。

八反田哲司(G53)氏:釧路市のお生まれです。 大学卒業後農薬関係の会社に勤務されておら れましたが退職され、平成25年、江別市(札幌 市の隣町)にヘルパーステーション[スノーバー ド」を開業されました。現在、札幌、江別地区

を対象に、行動援護(知的障害または精神障害 により行動上著しい困難を有する人が行動する 際に、危険を回避するため必要な援護を行う サービス)を行っておられます。

浅野 一郎(C54)氏:岐阜県のご出身です。 TSUCHIYA株式会社(旧土屋組)の北海道支店 長として金沢より8月末に転勤してこられまし た。北海道勤務は初めてとのことで、現在北海 道について勉強中とのことでした。偶然ですが、 ご子息が現在札幌の大学に在学中です。

吉川 芳和(C54)氏:岐阜県のご出身です。 株式会社NIPPO (旧日本鋪道株式会社)札幌支 店長として、平成24年4月に転勤してこられま した。北海道には昭和54年に、道北の士別市に あります自動車のテストコースで仕事をされた ことがあるとのことです。従来単身赴任がほと んどだったそうですが、今回は初めて奥様と二 人で住まわれておられるとのことです。

浅野氏(C54)、吉川氏(C54)および当日参加 されました佐川正人氏(C53)は偶然ですが、同 時期に同学科に在籍された方が札幌でまた一緒 になられました。

以上の他に総会に出席された方は次のとおり です。

佐藤 昌治(M40)氏、高田 忠彦(Y41)氏 三田村好矩(F41)、 山平 英夫(C43)氏 田上 利明(C47)氏、及川 善史(M47)氏 佐川 正人(C53)氏

記:三田村好矩



平成25年度北陸支部総会、懇親会の報告

平成25年度北陸支部総会、懇親会を去る11月 9日(土)16時より、福井市の老舗御料理『いわし 屋』にて、総計16名で開催いたしました。

総会は地元福井の吉岡正盛幹事(B58)の司会で始まりました。支部長の挨拶、議長選出に続いて総会に入りました。

- 1. 支部長から5月の総会での学長及び理事長 のご講演の要旨と、さらに7月の支部長会議 の内容を受けて大学および名古屋工業会の状 況が報告されました。改めて地元選出の森、 馬場両代議員が紹介されました。
- 2. 本部の平成25年度事業計画に基づいた支部方針のうち、特に未入会者の入会と大学の卒業生連携室の紹介とメールアドレスの取得が強く求められました。連携室からのメールマガジンも例示されました。さらに詳細については当支部のホームページにアクセスして活用されるよう要望されました。
- 3. 収支報告され了承されました。
- 4. 支部長より支部長をはじめとする支部役員 の若返り人選案が提示了承され、次回の支部 総会で最終決定することとなりました。

懇親会は記念撮影後、酒井謙人氏(B②)の司会により、福井工大の羽木秀樹教授(K48)の乾杯の音頭から歓談に入りました。話題豊富な大

変賑やかな宴席となり会員の懇親を深めました。お座敷の御姐さん方の三味線と踊りのほかコンパさんも参加され伝統の越前福井のもてなしと、この季節解禁早々のせいこ蟹の美味を堪能いたしました。

最後は次回の総会開催地となる石川県の馬場 清和代議員(M44)の次回総会懇親会開催の決意 表明と中締めとなりました。

皆さんの絶好の親交の懇親会となり、支部そして一般社団法人名古屋工業会そして母校の更なる発展を心より願ったことを、支部を代表してここに報告いたします。今回は残念ながら本部からのご来賓がなく、また講演会も企画できませんでしたが、福井県の幹事さんや皆さんに頑張っていただき盛会となりましたこと御礼いたします。





平成25年度 九州支部例会の開催報告

平成25年度の九州支部例会は、秋も深まった 11月9日(土)に、福岡市博多駅近くの八仙閣本 店にて開催しました。

当日は、名古屋工業会本部から常務理事 二 杁幸夫様(K39)をお迎えし、19名が出席されま した。

今年度の例会は、会費を値下げするとともに、 遠方からの日帰り参加を容易にするために昼間 の開催に変更したところ、初めて長崎市から2 名が参加いただいたほか、熊本県及び大分県か ら各1名の参加を得ることができました。今後、 鹿児島県、宮崎県など南九州からの参加も期待 されるところです。一方、沖縄県は遠隔地であ り参加が難しいことから、沖縄在住の同窓生が 集まられる新年会が開催された時は、九州支部 としてお祝いと名古屋工業会関連資料をお送り して新年会に協賛しています。以下、式次第に 従って例会の概要を報告します。

まず、出席者全員による記念撮影、福岡地区 担当の永濱幹事による開会のことば、喜多村支 部長の挨拶に続いて支部長による平成24年度支部活動報告と平成25年度活動計画及び永濱幹事による会計報告を諮り、大きな拍手でもって承認されました。

その後、二杁常務理事にご挨拶をお願いし、 名古屋工業会の活動状況や大学の近況について のご説明があり、一般社団法人への移行の初年 度としての活動や大学への支援などについて、 楽しく意義あるお話をお聞かせいただきまし た。

これより、熊本から出席いただいた武山様 (K31)のご発声による乾杯のもとパーティーに入り、懇親の場では情報交換が活発になされ、これに続く自己紹介と近況報告の場では、それぞれのご活躍の様子が紹介され出席者一同は熱心に傾聴しました。

今年の例会も大いに盛り上がりましたが、最

後に学歌「東海の邦のほまれに」を斉唱し、局様 (M36)の音頭のもと万歳三唱により名古屋工業 会並びに名古屋工業大学の益々の発展と皆様の 健勝を祈念しつつ、来年の北九州市での再会を 約して、また、九州各県からの多くの参加を期待して散会しました。九州に在住の名工大卒業 生の交流の場として、皆様の例会へのご参加を 心よりお待ちしています。

記:九州支部長 喜多村治雄(M40)



平成25年度NTT名工会総会開催報告

去る11月1日(金)に、恒例のNTT名工会総会を栄の名古屋国際ホテルにて、35名の参加により和やかな雰囲気で開催しました。

1. 総会

事務局より平成24年度事業報告と決算報告があり、引き続き平成25年度役員選出を行い、会長のNTT西日本㈱ビジネス営業本部営業部担当部長;田中敦氏(E63)をはじめ、全員が満場の拍手にて承認されました。

2. 講演会

特別講師として、ジェイアール東海建設(株) 代表取締役社長;後藤晴男氏(C49)をお迎えし、『超電導リニアによる中央新幹線』をご講演頂きました。直前に東京〜名古屋間のルート等が公表されたホットな話題について、パンフレット、スライドを駆使し、経営判断、ルート選定の考え方、超電導の技術課題、更には環境影響評価のポイントに至るまで、ユーモアを交えつつ、熱く分かり易くご説明頂きました。豊富な御経験に基づく奥の深い内容の大変有意義な講演会でした。

3. 懇親会

田中敦会長の開会挨拶の後、参加者の中で最も先輩の中村勝氏(C43)の乾杯のご発声により開宴となりました。先ほどのご講演への質疑をはじめ、近況報告、各職場での仕事や最近の社会情勢等、職場を越え世代を越えた話題に花が咲きました。その後、恒例の学歌「東海の邦のほまれ」を斉唱し、今回出席の若手を代表して中野敦司君(平成25年入社)の素朴でユーモアを交えた決意表明と締めにより、来年の再会を誓い散会としました。

記:大竹 昌志(C54)



大阪支部・兵庫支部 平成25年度秋季合同見学会 報告

大阪支部・兵庫支部 平成25年度秋季合同見学会として、10月11日(金)午後3時に、大阪市淀川区竹島にありますIMV(株)を見学致しました。参加者は平日ということで、21名と少なめでしたが、社長の名工大卒K48 岡本二朗氏の歓迎の挨拶に始まり、会長の小嶋成夫氏がNHK「ルソンの壺」に出演されました経緯をビデオ上映と解説で説明されました。IMV(株)は、オイルショック(S49年)の頃に経営がおかしくなりましたが、会長様が「Yes We Can」どんな難しい客の注文もうけるというチャレンジ精神を社員に猛アピールされ、見事に経営を立て直され、2005年には、ジャスダック証券取引所に上場されました。

現在、国内において、振動を再現する振動シュ ミレーションシステム、振動を計測するメジャ



振動シュミレーションシステムを説明される技術本部長桂井徹氏



本社前での集合写真 前列右端が岡本二朗氏 (K48)

リングシステム、振動問題を解決するテスト&ソリューションサービスの3つの事業を柱に、この業界におけるトップシェアを実現されています。見学会では、技術本部長 桂井徹氏が、初めに会社の製品、振動への取り組みについて、パワーポイントを使用して説明され、大は鉄道の機器の振動試験から、小は運送中の段ボール内の商品の振動試験まで、幅広くニーズのあるところ全てについて、対応の取り組みについて説明されました。まさに「Yes We Can」を実現されています。

次にショールームに場所を移して、実際に振動シュミレーションシステムを稼働されて、振動実験を致しました。振動によりボルトの落下する実験でしたが、実際は振動数を落として、実験致しました。ショールームに展示してあります、メジャリングシステムの説明として、地震の計測震度計の説明をされました。

最後にテストラボに移り、鉄道車両等の大型 試供品の振動実験をするW4.0×D3.5mの大型 振動台を見学致しました。見学会の最後として、 近くの懇親会場で、社長の岡本二朗氏、技術本 部長の桂井徹氏も同席され、楽しく懇談致しま した。午後6時30分に和気あいあいの内に解散 致しました。

記:三木敏裕(E48)



プレゼンテーションのようす

平成25年度大阪支部「秋季歴史探訪の会」(第62回式年遷宮に沸く伊勢神宮を訪ねて)

好天に恵まれた平成25年11月9日(土)、総勢43名(内、ご夫婦・ご家族10組)が、大阪・梅田から午前8時に貸し切りバスにて出発。途中、大和西大寺にて京滋、奈良方面からの会員をピックアップ。毎回遠方からの参加者がおられるなか、今回は滋賀の酒井様のご友人である清水久子様が、静岡の藤枝市からご参加いただいた。このあと名阪国道、伊勢自動車道を通って、一路伊勢の地へ。車中では遷宮関連の情報を纏めたDVDを放映するなど、式年遷宮に関する予備知識を事前に得ていただいた。

伊勢に到着後、老舗割烹「大喜」にて地元名物 料理の昼食に舌鼓。午後、先ずは外宮先祭の 例にならい、「外宮」の一の鳥居左手前に今回の 式年遷宮を記念して2012年4月に開館した神宮 内の4番目の博物館「せんぐう館」へ。ここでは 1300年の歴史を持つ式年遷宮の意義や遷宮毎に 新調される社殿造営やご装束神宝奉製の様子が ビジュアルに展示されている。去る10月の夜間 に執り行われた「遷御渡御御列」の再現模型や各 種神宝が製作される過程が目の当たりに見ら れ、なかでも檜の香り漂う「外宮正殿」の側面の 原寸大模型は、普段我々が間近に見られないだ けにその壮大さに目を奪われた。この後、大勢 の参拝客に揉まれながら遷御なったばかりの 「外宮」を参拝。別宮である「土宮」「風宮」にも 参拝して「外宮」をあとにする。

次に訪れたのは三つの博物館、美術館が点在する倉田山一帯、ここには神宮が公益事業とする文化施設が集中しており、我々は「神宮徴古館」「神宮農業館」「神宮美術館」の順に拝観。「神宮徴古館」は神宮の「歴史と文化の総合博物館」として神宮のお祭りや歴史・文化に関する資料を中心に展示されており、神宮を知るためには必見とされる。1909年に日本初の私立博物館として創設、外観は明治の宮廷建築の第一人者であった片山東熊の設計によるルネサンス様式の重厚なデザインである。続いて「農業館」は人間

と自然の産物との関わりをテーマとした日本最初の産業博物館とされていて、建物は「徴古館」と同じく片山東熊の設計で、宇治の平等院鳳凰堂をイメージした和洋折衷の木造建築である。前出の「徴古館」とともに明治時代の建築物の代表的遺構として、国の登録有形文化財となっている。「神宮美術館」は正式には「式年遷宮記念神宮美術館」といい、去る平成5年の第61回式年遷宮を記念して創設され、文化勲章受章者、日本芸術院会員等当代を代表する絵画・書・彫塑・工芸作家が、遷宮に奉賛して奉納された作品を展示している。以上何れも平素は素通りしてしまうことが多かった3館だけに、大変有意義な拝観であった。

最後は、今回の最終目的である「内宮」の参拝で、20年に一度に加え新社殿への遷御直後とあって、大勢の参拝客で混雑を極める「内宮」の参道の玉砂利を踏みしめ、老杉の間を縫っての参拝となった。以前の旧正殿地の手前の新正殿に額づき、互いに拝礼を済ませた。遠くから望む新正殿の素木の建物、キラリと光る金具が心を引き締めてくれた。

すべての参拝、拝観が終わりお楽しみのお 土産のゲットは「おはらい町」「おかげ横丁」で。 あの有名な定番土産の赤福もちが売り切れるな どハプニングも。

夕暮れ迫るなか、快い疲れが残しながら帰途 につき無事各地に帰着した。

記:藤原康宏(E36)



第21回ごきそ会展(名古屋工業大学OB絵画展) 2013開催

本学卒業の絵画を愛好する仲間が集まり毎 年名古屋で絵画展を開催しており、今回で第21 回を迎え10月29日(火)から11月3日(日)まで名古 屋・伏見にある電気文化会館5階東ギャラリー で開催いたしました。今年は1000名近くの多数 の方にご来場をいただき、好評の中で終了する ことが出来ました。本年は信田豊治(A28)さん と吉田昭博(M41)さんが新入会員として参加し ていただきましたが、残念ながら加藤眞昭(A31) さんと梶田英夫(A29)さんが亡くなられました。 ご遺族にご了解をいただき遺作を展示致しまし た。総点数は88点におよび会場一杯の展示にな りました。作品画材は油彩、水彩、日本画、パ ステルに色鉛筆画など、サイズはハガキ大から 80号まで変化に富んでいます。また作品の質も 年数を重ねるごとに向上し、ご高覧いただいた 皆様から大変高い評価をいただきました。今後 も充実した絵画展を目指し、本学のPRに繋が ればと願っております。

なお、この会も本年2名の会員を失い、高齢 化が進んでおります。存続していくために特に 若い方のご入会を期待しております。ご入会希 望者や絵を描いている方の情報がありました ら、事務局まで是非ご一報くだされば幸いです。

次回は平成26年10月21日(火)から10月26日(日)まで同じ場所で開催予定です。是非沢山の方にご高覧いただきますよう紙面を借りてお願い申し上げます。

記:福田一豊 (A36)

今回の出展者名(○は新入会員 *遺作展示)

清水 昭夫 (A26) 信田 豊治 (A28)○

梶田 英夫 (A29)* 富田憲次郎 (A29)

加藤 眞昭 (A31)* 神谷 義夫 (A31)

栢本 良三 (A31) 早川 茂次 (A33)

本田 暎幸 (D33) 清水 昭 (A34)

前田 隆 (C34) 山田 銑一 (K34)

伊藤 禎治 (A35) 加藤 桂吾 (A35)

白川 博之(A35) 栃尾 宗昭(A35)

脇田 芳明 (A35) 福田 一豊 (A36)

平川 史朗 (A38) 木戸 眞人 (A40)

高橋 秀郎(M41) 吉田 昭博(M41)○

連絡先 中部事務局 福田 一豊

〒465-0053 名古屋市名東区極楽2-184 TEL:052-702-1504 FAX:052-702-0097

E-mail: k_fu@d2.dion.ne.jp

関東事務局 加藤 桂吾

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町802-2

大倉山ハイム7-305

TEL/FAX 045-544-5211



会場での集合写真

25年度名工会三河支部親睦ゴルフ大会報告

平成25年10月19日(土)に、名工会三河支部親睦ゴルフ大会を岐阜県瑞浪市のベルフラワーカントリー倶楽部にて総勢31名に参加いただき開催いたしました。早朝に降っていた雨はスタート時に上がり、気温も上昇し気持ちの良い気候での集まりとなりました。

結果は、佐藤章雄氏(F52)がネット72.8 (グロス80)で優勝、ベストグロス賞となりました。2位は服部和弘氏(E62)、3位は大河内光人氏(K58)でした。今回は各組のスコア平均によるチーム戦も行い、チーム内での交流も深めることができました。

ホールアウト後はコンペルームにて表彰式と

ともに軽食で交流を深め、定期総会の資料を中心に名古屋工業会の事業および計画の報告や、 今年度末に予定している支部総会の開催案内な どの報告も参加者へ資料を用いて行いました。

記:山本 桂己(Zk①)



名工会東京支部 第216回ゴルフ大会報告

第216回大会は、9月6日(金)、若洲ゴルフリ ンクスにて開催されました。前日の雷雨・集中 豪雨など不安定な天候があり心配されました が、当日は若干の蒸し暑さはあったものの穏や かな曇天に恵まれ盛大な大会になりました。

24名のエントリーでスタートし、松下様 (E23)が前半ラウンドで終了されましたが、残 る23名は元気に完走されました。

ラウンド終了後、表彰式とパーテイが執り 行われました。今大回は赤井憲彦さん(C44)が ネット74のスコアで優勝されました。準優勝は ネット77のスコアで野澤滋為さん(M36)、3位 はネット78の竹林義之さん(D39)でした。加え て5位、10位、15位、20位、BB、水平、大波の 各賞とニアピン賞が授与されました。

尚、91歳の小関健二さん(M18)が乗用カート なしで完走・水平賞を獲得されるなど、名工会 東京支部ゴルフ会員各位の目標となる存在を発 揮されました。

次回(予定)は大厚木カントリークラブ(11月 13日)での開催を確認し、和やかなうちに表彰 式・パーテイを終えました。

実行委員:藤田正浩、原 弘



謹賀新年平成26年元旦

名古屋支部

[平成24·25·26年度主担当単科会:名窯会]

支部長 春 日 宏 Y 56 敏 幹事長 道 家 清 正 Y30総 務 多 賀 茂 Y 62 牛 \mathbb{H} 同 邦 裕 Y 51 庶 橋 本 忍 Y(2)務 同 加 藤 隆 史 Y 56 志 同 岡 村 隆 Y 60 本 沢 雄 Y(6)会 計 同 勝 祐 介 Y(5)

[単科会 代表幹事]

C E 会 Ш 盛 康 C(3)光鯱会 栢 本 良 A 31 巴 会 Ш 耕 杉 M(6)電影会 三 宅 正 人 E 60 双友会 地 正 章 泉 W44 聖 会 大 橋 緑 _ D45 名窯会 多 賀 茂 Y62平 野 名晶会 春 好 K50 計測会 大 鑄 男 史 F49 科 経 友 会 仁 健 B50情友会 犬 博 塚 信 J 62

事務局 〒466-0062 名古屋市昭和区狭間町4 名古屋工業会内 ☎(052)731-0780

東

支 部 長/副理事長 D41 阿部 完二 副支部長/代議員 C42坂井 平手 副支部長/代議員 Es42 常任幹事/代議員 Y40日沖 相談役/顧問 C 33 石川 相談役/顧問 D33横田 相談 役/参 与 E 36 相談 役/参 与 M43張田 /顧 問 W33 飯田 監 事 Es46 山田 事 監 M47

常任幹事/代議員 A 63 交広 石田 M46 北野 良幸 松居 D51和治 K43 須賀 久明 常任幹事

C 48 橿尾 恒次 C 55 松田 和繁 M45 小野 尚純 M55 戸澤 宏一 E39 勝英 加藤 E44井上 憲 -D44 岡本 利郎 W38 倉島 俊. 健太郎 Y42清

佐藤

阪井 K 46 眞人 F 51 寺倉

利充 孝士 昭 金治 章宏 小田征一郎 吉昭

秀郎 吉英 松浦 明人

小林

幹事

C47

®20

M49

A47平松 充 A 61 工藤 利昭 Es43 森本 晃一 良亮 D35濟木 D38三山 雅敏 D45鈴木 満雄 D45 堀 定次 W43 印藤 鱎 F 45 松永 新 政之 B43 近藤

北野

福間

洋二

B 50

北海道支部(北鯱会)

支部長 三田村 好矩 (F41) 代議員 秋 山 秀 雄 (Es43)

東 北 支 部

支部長 斎藤文伸(A51)

事務局 〒982-0821 仙台市太白区松が丘3-22 ☎&FAX 022 - 228 - 0685

静岡支部

支部長 山之上 誠(C49)

静岡支部役員一同

大 阪 支 部

支部長/本部副理事長 C44 木越 正司 副支部長 *E36 藤原 康宏 副支部長 *E48 三木 敏裕 副支部長 *A46 岡崎 格郎

総務委員長 * A51 玉水 新吾 同副委員長 D51 佐野 義和 事業委員長 E48 三木 敏裕

会員增強委員長 * A46 岡崎 格郎 同副委員長 B42 松葉 貞雄 若f·姓¤益会員長 C55 小西日出幸 同副委員長 * G52 田中 耕嗣 地方郡会委員長 E36 藤原 康宏

技術士部会 M39 山本 泰三 同副委員長 D41 末利 銕意 財務委員長 G54 大貫 雅彦 同副委員長 C59 堀口 大輔 華格金継奏員会員長 A46 岡崎 格郎 同副委員長 K59 上田 智 監 事 B42 布施順之助

 単科会支部長
 C 47 西川
 芳久
 単科会支部長
 Y 40 片岡
 宏治

 単科会支部長
 A 50 千葉
 耕作
 単科会支部長
 K 48 加藤
 修

 単科会支部長
 M 45 掛田
 健二
 単科会支部長
 F 55 坂尾
 健司

 単科会支部長
 E 37 土居
 秀行
 単科会支部長
 B 42 布施順之助

 単科会支部長
 W 40 今井
 啓祐
 (以下役員16名は空白)

 単科会支部長
 D 41 末利
 銕意
 * は本部代議員

地方部会幹事

和歌山県 C57 東 照久 C53 向井直樹 SC① 井原誉文 奈良県 E47 原尾則行 G50 西川嘉一 C52 福井広行 滋賀県 A46 福永忠昭 M46 中川平三郎 M45 伊藤俊明 京都府 D45 西村源四郎 D45 駒田周美 M58 筒井真作

尾張支部

支部長 玉 田 欽 也 (W32) 平成26年度支部総会は稲沢市民会館で 4月19日(土)に開催します。

岐 阜 支 部

支部長 山 中 茂 樹 (A34)

北 陸 支 部

支部長 山岸 憲一郎 (K33) 平成26年度支部総会は今秋、小松にて行います。 皆さんのご出席をお待ちしております。

兵 庫 支 部

三 A50 元·兵庫県庁 楠 支 部 長 田 登 FM② 三菱重工業 副支部長 井 \mathbb{H} 陽太郎 C55 兵庫県庁 高 瀬 事務局長 前 田 多津夫 A38 元·三菱重工業 監査役 羽 倉 昭 二 C54 神戸市役所 顧 問 秋 山 敏 郎 C33 元·兵庫県庁 士 C⑨ 兵庫県庁 幹 事 好 達 羽 倉 昭 二 C54 神戸市役所 西 Ш 芳 久 C47 神鋼環境メンテナンス 宮 誠 M61 神戸製鋼所 多 H 志 E (13) 神鋼環境ソリューション <u></u> 芳 村 大 M55 川崎重工業 史 EJ② (三菱電機) (二般·東) 武 藤 # \mathbf{H} 答 FM② 三菱重工業 之 K44 (白鷺特殊鋼 加 藤 恵

【本 部】

 代議員
 H25年度
 楠田
 修三 A50
 兵庫県庁

 同上
 井田
 登 FM②
 三菱重工業

 参 与 同上
 楠田
 修三 A50
 兵庫県庁

九 州 支 部

毎年1回の例会には皆さんのご出席をお待ちしております。 平成26年は11月初旬に北九州市で行います。

支部 長 喜多村治雄(M40) 副支部長 安達 高春(A46)

事 務 局 永濱 伸介 TEL 092-716-2015 (清水建設㈱) 佐藤 孝志 TEL 093-872-6132 (新日鐵住金㈱)

部 Ш 支 出

幹 事 野村幸宣(C54) 支部長 宮崎勝秀 (A45) 中村浩巳(A54) 浜野弘史 (Es56) 代議員

代議員 虫明正博(K59) 堀内 章 (K38) 幹事

事務局 石井敏典 (G47) 〒701-0113 倉敷市栗坂467-22

虫明産業㈱内 斉藤 実 (C55)

支 部 丛

支部長 菱川躬行

事務局 〒735-0015 広島県安芸郡府中町青崎東8番49号 株式会社システム総合研究所

2082 - 284 - 5630

名古屋工業大学名窯会

加 藤 倫 朗 (Y40) 日本特殊陶業㈱ 代表取締役会長

牛 込 最高顧問 進 (Y33) (株) TYK 代表取締役会長

副会長 道 家 清 正 (Y30)

名古屋工業会 顧問

委 冒 牛 田 邦 裕 (Y51)

名古屋工業会 参事

多賀 茂 (Y62) 名古屋工業会 代議員

事務局 環境材料工学科 本 多 沢 雄 (ZY6)

TEL&FAX 052-735-5281 E-mail honda@nitech.ac.jp

トヨタ車体株式会社

相談役·技監 水 嶋 敏 夫 (M42)

〒448-8666 刈谷市一里山町金山100番地 TEL (0566)36-7500 URL http://www.toyota-body.co.jp/

浅井翻訳事務所

浅 井 利 夫(E31)

〒227-0038 横浜市青葉区奈良3-10-21 TEL 045-961-6216 FAX 045-960-1396 E-MAIL JBA00531@nifty.com



株式会社 サクラソフトハウス

中小企業様のIT支援を承ります。

★★ 業務システムの構築・改善

★ ホームページの作成 Webサイトの構築

〒466-0062 名古屋市昭和区狭間町4 名古屋工業会館4F TEL 052-735-3171 FAX 052-735-3172 E-mail: sakurash@na.rim.or.jp http://sakura-info.net

日本最大級の物流取扱量を活かして メール便に代表される発送費をコストダウンし 新たなSP提案を致します!

メールカスタマーセンター株式会社

名古屋支店 〒464-0850 名古屋市千種区今池4-15-3 TEL 052-741-0400 FAX 052-753-4811 http://www.mail-cc.com

株式会社 **TYK**

代表取締役会長 牛 込 進 (Y33)



豊田合成株式会社

〒452-8564 愛知県清須市春日長畑1番地 TEL:052-400-1055 FAX:052-409-7491 URL:http://www.toyoda-gosei.co.jp

総合印刷の

〒466-0014 名古屋市昭和区東畑町一丁目42番地 TEL $\langle 052 \rangle$ 741 - 7701 (代) FAX (052) 741-7703番

♥ Uハン 名古屋工業大学生活協同組合

専務理事 稲 吉 顕 吾 (EI⁽²⁾)

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 $TEL\langle052\rangle731-1600$ $FAX\langle052\rangle731-8726$ E-mail: inayoshi@nitcoop.or.jp

企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで トータルサポートでお値打ち!!



(株)ブライダルは 名古屋工業大学会員の皆様の 「結婚」を応援します。

35年の実績 (一橋大コースetc)

名古屋工業大コース

50 % OFF

エクセレントコース ¥378,000▶¥362,250 etc.

- ●成婚率は業界トップクラス
- ●都庁·官公庁·有名大学などでメディア展開
- ●お客様満足度NO.1のお世話を目指し少子化

60名のデンソー等企業出身者が御社の課題を解決します!

技術支援

メカから電気・電子、半導体まで 開発設計、品質、生産技術、生産まで

技術系全25講座一材料、加工、設計、電気・電子、 組込コンピュータ、各種要素技術・・

品質系全30講座一DRBFM、なぜなぜ分析など 各種未然防止手法

マネジ・メント系全10講座一経営品質、もしドラリーダシップ、 プロジェクト管理…

Worldtech

株式会社ワールドテック

代表取締役 寺倉修(F50)

〒458-0901 名古屋市中区錦2-15-22りそな名古屋ビル7F

FAX:052-219-6026 TEL: 052-219-6025

E-mail:solution@worldtech.co.jp

特許業務法人 英知国際特許事務所

EICHI Patent & Trademark Corp.

名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F Network 東京·横浜·湘南·浜松·豊橋·名古屋·岐阜·大阪

所長弁理士 岩 崎 孝 治

- 知財の総合コンサルタント -



【東京本部】〒112-0011 東京都文京区千石4-45-13

TEL: 03-3946-0531(代) FAX: 03-3946-4340

【神奈川支部】〒224-0006 横浜市都筑区荏田東1-23-2

TEL: 045-532-3827 FAX: 045-532-3828

【浜松支部】〒430-0806 浜松市中区木戸町3-18

TEL: 053-461-5662

【山形支部】〒994-0026 山形県天童市東本町1-2-20

TEL &FAX: 023-651-6102

【大阪支部】〒593-8324 堺市西区鳳東町2-198

TEL: 072-201-1593 FAX: 072-201-1596

【仙台支部】〒980-0813 仙台市青葉区米ケ袋1-2-6-402 TEL: 080-5682-0531

http://www.eichi-patent.jp

一般社団法人名古屋工業会会誌 「ごきそ」に広告を掲載しませんか

「ごきそ」は15,000部を隔月発行し、 会員・広告主・関係官庁・各学会・大

学・図書館等に頒布されています。

詳細は名古屋工業会のホームページ

http://www.nagoya-kogyokai.jp/

でご確認ください。

広報委員会

員 長 森川 民雄(W45)

前田	健一		山盛	康	(SC3)
北川	啓介	(A®)	安楽	崇宏	(M®)
大羽	達志	(MF3)	廣瀬	光利	(E50)
中村	剛士	(EJ5)	吉木	満	(W56)
高木	幸治	(ZW5)	野中	久義	$(D \widehat{\theta})$
吉野	明広	(G53)	道家	清正	(Y30)
本多	沢雄	(ZY⑥)	宮地	義彦	(K50)
米谷	昭彦	(F60)	守田	賢一	(F47)
横山	淳一	(Fb6)	澤村	泰政	

会誌「ごきそ」のバックナンバーは、名古屋工業会のホームページ http://www.nagoya-kogyokai.jp/でご覧いただけます。